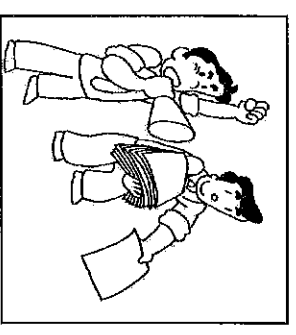


全国 検数労連

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



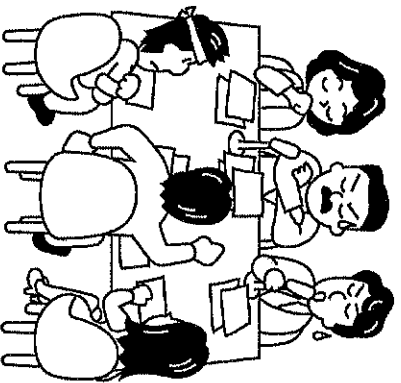
708号

6月20日(月) 第3回 検数労連22夏季一時金交渉 14:00~14:30
有額回答前、最後の交渉。極端な地域間格差解消と、急激な物価上昇に対応した組合要求に浴う回答を構築せよ!

【第3回一時金交渉】
 6月20日(月)第3回検数労連22夏季一時金交渉で、組合は24日の有額回答指定期の前段として両協会に有額回答に向けた考え方を聞きました。

【日検協会】
 22夏季賃手の構築にあたる考え方として、算定基準となる21年下期の収益状況を見ると自動車部品の一つである半導体の動向が若しなれない影響もあり、収益状況としてはコロナ禍前までには戻っていない。これまで既存業務の減少分を補っていた損保等の検査業務についても増額しており、総合的には前年よりも増えている。また、コロナ禍による上海のロックダウンの影響もあり、先行き不透明感はない。

このような状況ではあるが、労組の夏季賞与に対する要求や主張に配慮されるよう配分も含め、鋭意検討している。



【全日検】

22夏季一時金に対する考え方に
 ついて、21年度の収支状況を見る
 と対前年比・対前年比ともに増
 加しており、賃物取扱量は少し
 づつ減っている。しかしながら
 コロナ禍前の状況に近づいて
 いる。21年度の収支状況は春闘時
 とそれほど変わらないことは理解
 している。

【組合主張】

現在、時間外規制があるなか現
 場の働く組合員の収入は減少して
 いる。そこに追い打ちをかけるよ
 うな急激な物価上昇もあり生活が
 苦しくなっている。そのなかで、
 一時金は賃金の後払い的な意味合
 いが強いことから、今夏季一時金
 については要求に沿った回答の提
 示を強く求める。
 昨今の物価上昇や港湾相場にも
 届かなかつた検数着働の回答類に
 対し、現場では不満や若手職員か
 らは将来不安の声が広がっており、
 その声を払拭させるには、やは
 り一時金での組合要求に沿った
 回答が必要不可欠である。若手職員
 の退職を防ぐためにも組合要求に
 沿った回答を有額回答指定期に提
 示することを強く求める。

【再雇用の先輩方へ】

現役を勤め上げ、再雇用として新たなスタートを切った仲間の皆さん、組合活動も新たな視点で取り組んでみませんか？
 今、日本の社会は少子高齢化が進み、平均寿命も男81歳、女87歳と年々伸びていること、また年金財政政策などで、厚生年金の受給年齢も60歳から65歳へ、そして先々では70歳が確定的です。企業などに向けては65歳までの雇用義務や70歳までの雇用推奨を国は進めています。日本は憲法9条を改悪し、自衛隊の国軍化や防衛費の大幅拡大を狙っています。平和で豊かで安心して暮らせる社会生活を実現させて行くには、個人の声だけでなく労働組合に団結して、より大きな声にしていきましよう。
 私は7月から再雇用へ移籍しますが、引き続き(再雇用)組合員として検数労連の運動発展を図る覚悟です。そして賃上げ、一時金・産別運動・センター運動と共に、これからの人達が暮らしやすい社会の実現にも目を向けるつもりです。
 どうか、再雇用の職場の先輩諸氏には引き続き検数労連を通じて議論や活動の参加をお願い致します。
 全国検数労働組合連合
 中央執行委員長 瀬戸修

第4回検数労連22夏季一時金交渉
 6月24日(金)15:00~
**労組指定の有額
 回答指定日につき
 要注意!**